

『つながろう ふよう お家プロジェクト』

本園では、休業中の子供たちと、保護者の方とが幼稚園を近くに感じ、安心して家庭で過ごせるように『つながろう ふよう お家プロジェクト』として様々な方法を利用して幼稚園と家庭とがつながりをもてるようにしてきました。

第1弾では、電話、お便り、ホームページでの幼稚園の様子のお知らせから始まりました。メール配信システムを利用し、家庭での動画配信の受信と閲覧状況をアンケート調査した結果、全員が見られる環境にあることを確認し、幼稚園のお庭散策の動画を配信しました。また、お家で作れる素材セットの送付の中に母の日のプレゼントをお家で作れるように無地の布バックと、布に描けるクレヨンも入れ、作り方の動画を配信し、先生と一緒に作っている気分を味わえるようにしました。



送付セット(第2回)

☆ははのひのプレゼントをつくろう☆
おんがうさん・なんしやうさん

①のりよう
・しろいバッグ1つ
・ぬのようくれん1個
・いらぬきみ
・ドライヤー
・ありがとうカード

②つくりかた
①バッグのなかに入らないゆみをいれる。
(くれんがバッグのなかにうつらないようにするためだよ。)

②バッグにぬのようくれんで好きなえをかく。
③くれんでかいたところにドライヤーで6〜8分あたいたかきをかきかけよ。おうちのひとといっしょにやろうね。
(せんたくしたときいろいろおがしにくくなるようにするためだよ。)

④できたバッグをありがとうカードといっしょにプレゼントしよう！
(カードにいろをぬったりえをかいたりしてもいいね。)

つながろう ふよう お家プロジェクト

休園期間中、附属幼稚園では、子供たちや保護者の皆様が幼稚園を少しでも身近に感じ、安心してお家で過ごせるように取り組んできました。休園期間が延長したことに伴い、様々な方法で幼稚園とお家とがつながって子供たちを支えていけるような取組みをしていきます。特に第2弾では、幼稚園の再開に向けて段階的な取組みをしていくことで、子供たちが安心して、また、感染予防を配慮した環境の中で登園を再開できるように取り組んでいきます。

<実施期間>
第1弾 4月9日(木)～5月10日(日)
第2弾 5月11日(月)～5月31日(日)

お便り
園より・保護者よりを通して感染予防やお家で過ごすアイデアなどをお伝えしています。

電話
担任が各ご家庭に電話をし、家庭の様子を聞いています。電話にて養護教諭・副園長が教育相談に応じています。

ホームページ
ホームページでは、期間中、毎週幼稚園の様子をお知らせしています。

『つながろう ふよう お家プロジェクト』をアップします。園内保護者の方は全ての内容を見ることが出来ます。
※これらの内容の一部を同年齢のお子さんをもつ保護者の方や地域幼児教育を支える方にも活用してもらえようとしています。

お家で送る素材セットの送付
幼稚園でも行っている製作やぬりえなどを送付し、お家でも作ったり遊んだりできるようにしています。
<第1弾>
ぬりえ、母の日のプレゼント、こいのぼり
<第2弾>
モザイクチップでかざろう(年長のみ)
身近な紙で遊ぼう(全学年)
息抜きをしてみよう(全学年)(年少組は実態に応じて手打ちきりも)

メール配信システム
休園中の諸連絡に加え、限定公開の動画を配信しています。
<第1弾>
幼稚園の様子が見えたり、素材を使ったプレゼントと一緒に作ったり、園歌や体操と一緒に歌ったり運動したりできるような動画などを配信してきました。
<第2弾>
休園中の3週間を見直し、普段幼稚園で行っているような遊びやお家の方と一緒にできる体を動かした遊び、自然と触れ合う遊びなど様々な遊びを紹介していきます。どれも幼児期に必要な遊びばかりです。遊びを通して自分の思いを実現していく楽しさや、発見する面白さ、体を動かして遊ぶ楽しさ等に気付いてほしいと思います。幼稚園の生活も紹介します。
メールにてホームページの情報を配信いたしますので、ホームページ上からお家で実践できる遊びをご覧いただけます。

幼稚園
休園中ですが、最大限に感染対策をし、親子で幼稚園に来れる日を段階的に設定し、担任の先生に会うことで、幼稚園での活動とお家とがさらにつながっていくようにしていきます。幼児の発達段階を考慮し、スモールステップで丁寧に幼稚園再開に向けて取り組んでいきたいと思っています。
<詳細については別紙参照>

第2弾では、幼稚園の段階的な再開を目指してさらに幼稚園が身近に感じられるように動画では、幼稚園で遊んでいる素材・教材や遊び方を紹介しながら、幼稚園の教育課程の中で大切にしていることを遊びをとおしてお知らせできるように動画をまとめて「お家であそぼう！ふようプロジェクト」としてホームページにそれぞれの教育的な意味づけと活用の仕方をつけてアップしました。これらの一部は、同世代の子供をもつ保護者の方や幼児教育関係の皆様にもご活用いただけるように一般公開させていたしています。動画作成は、1回目のものを見直し、2回目は幼児が見ても分かりやすく、また、動画をきっかけに遊びが広がる余地を残すことを考え、普段の保育同様に幼児理解や教材の扱い方などを通して、本園で大切にしたいことなどを考える機会となり、職員の研修にもなりました。



また、幼稚園に段階的に分散登園できるような機会を設け(1回に10名程度ずつ)、年長組では幼稚園で準備した素焼きの植木鉢とモザイクチップを持ち帰り、お家でボンデで飾り付けをした植木鉢を持って登園し、花の種を蒔いて、幼稚園再開を楽しみにお家で育てるという活動をしました。普段は幼稚園で行っていた活動でしたが、「親子で楽しめました。」と保護者の方にも楽しんでもらえました。

おうちであそぼう！ ふようプロジェクト		
動画タイトル	QRコード	QRコード
お家であそぼう！ https://www.youtube.com/watch?v=1v0v0v0v0v0		
お家であそぼう！ https://www.youtube.com/watch?v=1v0v0v0v0v0		
お家であそぼう！ https://www.youtube.com/watch?v=1v0v0v0v0v0		
お家であそぼう！ https://www.youtube.com/watch?v=1v0v0v0v0v0		
お家であそぼう！ https://www.youtube.com/watch?v=1v0v0v0v0v0		

- 学級をAグループとBグループに分けて隔日登園を2週間行い、半分の人数（16名）の中で新しい生活の仕方に慣れるようにしました。



緑のシールがAグループ、黄色のシールがBグループで、向かい合って座らないように配置してあります。

水道を一つおきに使用することにして、隣との間隔を空け、並ぶときの目印をつけました。



トイレに並ぶところは、足跡の色を変えて分かるようにしました。先頭の子供は出てくる子供と重ならない配置になっています。

- 「ようちえんのいちにち」の動画を作成し、門を入ってから、保育室に入ってからまず手洗い、それからかばんをかけてスタートしたり、手洗いやトイレの並ぶ場所のことなど、を映像で見て、登園前に親子でイメージがもてるようにしました。隔日登園の前週に、分散登園を行い、学級の4分の1ずつ（8名）ずつに丁寧に幼稚園の生活について知らせることにしました。

- 幼稚園の環境構成の工夫

幼稚園の環境の中で、自然と一人一人がやりたいことに向かいながら友達の距離感が保てる環境の工夫を試みています。

☆壁面を利用した環境作りの例



4歳児保育室

普段は対面で設置することが多いまごごとコーナーは壁面に向けて、何か所もまごごとコーナー作ること子供たちが分散するようにしています。

☆可動式ロッカーを利用した環境作りの例



4歳児保育室

ロッカーの壁面を利用して、壁を作って保育室を仕切り、空間を作っています。また、窓際に設置することで風通しよく、テラスにも机を設置し、屋外でもできるようにしています。

☆複数個所に分散させた環境作りの例



5歳児保育室

同じ規格の積み木の場を横並びで配置することで、隣の友達をしていることを感じながら自分の遊びに没頭できるようにしました。手洗いが基本ですが、間に消毒液を配置し、（教師が見守る中で）活動の前と後とでも消毒できるようにしています。

☆魅力的な教材を工夫することで、物との関りを楽しめる環境作りの例



5歳児保育室テラス

幼児が扱いやすい重さと柄の長さを考慮した金づちを使っています。また、釘も打ちやすく、支えやすいものを選んでいきます。本物の道具を使うことで、大工さんになりきって夢中で取り組みます。一人一人の角材に、真剣にひたすら打ち込むことを楽しんだり、模様にして楽しんだり一人一人の試しが繰り返されます。（年中組の最後にはやるはずだった活動です）

※休園中の取り組みについては、登園再開時に保護者の方にアンケートを行い、今後の実践に活かしていきたいと思っています。